

高齢糖尿病患者の血糖コントロール 目標達成度の変化

内分泌・代謝内科 清水洋佑

背景／目的

- 高齢者においては代謝低下や併存疾患のため低血糖のリスクが上昇する。
- 日本糖尿病学会・日本老年病学会は、高齢糖尿病患者における血糖コントロールは個々の病状に応じて目標を定めるよう2015年に提唱した。

患者の特徴・健康状態 ^{注1)}		カテゴリーI		カテゴリーII	カテゴリーIII
		① 認知機能正常 かつ ② ADL 自立		① 軽度認知障害～軽度認知症 または ② 手段的ADL低下、基本的ADL自立	① 中等度以上の認知症 または ② 基本的ADL低下 または ③ 多くの併存疾患や機能障害
重症低血糖が危惧される薬剤（インスリン製剤、SU薬、グリニド薬など）の使用	なし ^{注2)}	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり ^{注3)}	65歳以上75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)

- 昨年、当科で治療中である高齢糖尿病患者の管理状況を、新たな目標値で評価した。
- この際、当科医師は患者毎の目標値を明確にした。具体的な目標値を意識することで、実際の達成度に変化があるか解析した。

方法

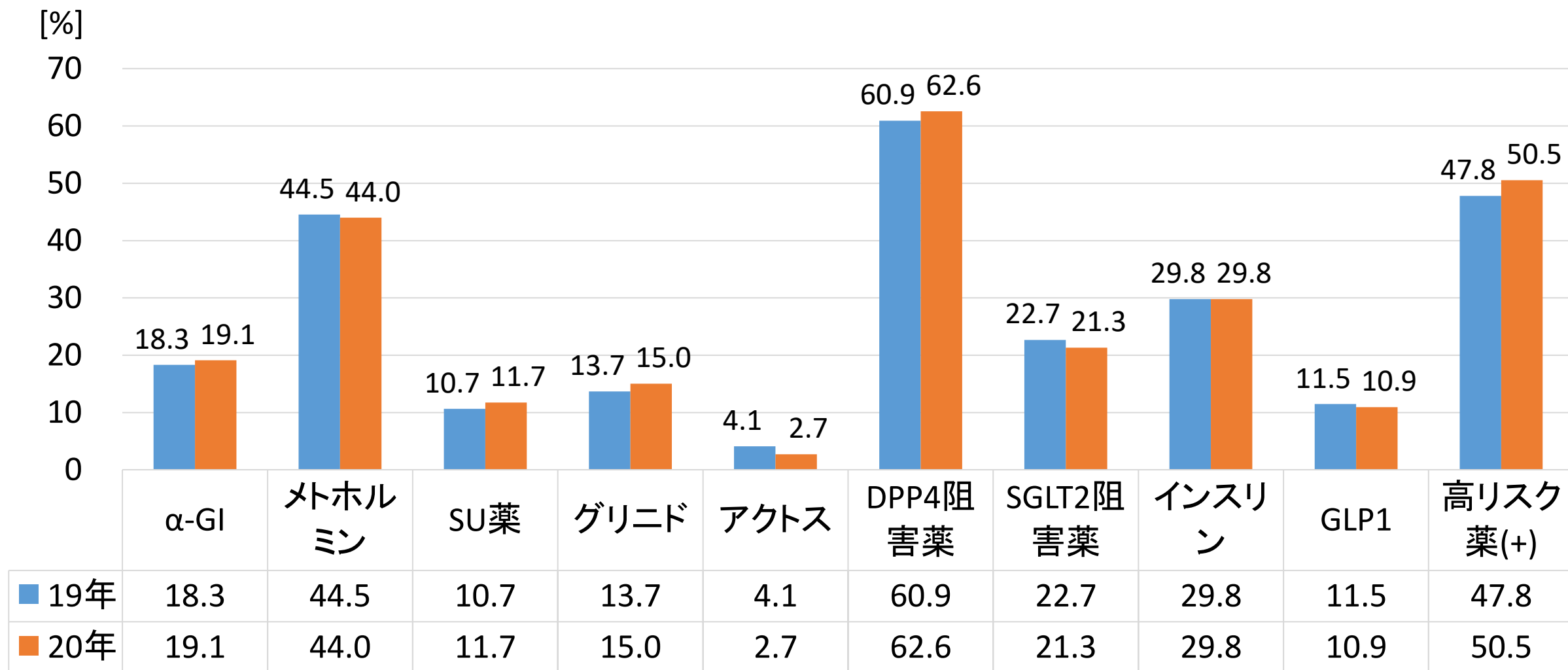
- 2019年9月1日-11月30日に当科外来を受診した患者のうち、糖尿病の診断病名がある患者を抽出し、初診患者を除いた。
- 2020年9月1日-11月30日の受診時における以下の患者情報を収集した。他院紹介、通院中断、死亡例についてはその患者数のみ表示する。
 - 年齢、性別、患者状態
 - 血糖値、HbA1c
 - 使用中の血糖降下薬
 - 経口薬: α -グルコシダーゼ阻害薬(α GI)、メトホルミン(BG)、SU薬(SU)、
超速効型インスリン分泌促進薬(グリニド)、アクトス(TZD)、
DPP-4阻害薬(DPP4i)、SGLT-2阻害薬(SGLT2i)
 - 注射薬: インスリン、GLP-1受容体作動薬(GLP1RA)
- 患者状態と、低血糖リスクの高い薬剤(高リスク薬: SU、グリニド、インスリン)の使用有無で分類し、治療目標の達成度を検討した。

患者状態

- 昨年患者数: 481人 男性298人(60.9%)、女性183人
- 本年患者数: 366人 男性222人(60.7%)、女性144人
- 年齢: 66-93歳、平均74.7±6.0(昨年73.9±6.3)

患者状態	20年	カテゴリ I	II	III	計	[人(%)]
	高リスク薬(一)	130(35.5)	37(10.1)	14(3.8)	181(49.5)	
	高リスク薬(+)	102(27.9)	52(14.2)	31(8.5)	185(50.5)	
	計	232(63.4)	89(24.3)	45(12.3)	366	
	19年	カテゴリ I	II	III	計	[人(%)]
	高リスク薬(一)	135(36.9)	43(11.7)	13(3.6)	191(52.2)	
	高リスク薬(+)	118(32.2)	39(10.7)	18(4.9)	175(47.8)	
	計	253(69.1)	82(22.4)	31(8.5)	366	

血糖降下薬の使用頻度



血糖管理状況

HbA1c[% , mean ± SD]

20年	カテゴリ I	II	III
高リスク薬(一)	6.76 ± 0.71	6.62 ± 0.89	6.85 ± 1.34
高リスク薬(+)	7.48 ± 1.02	7.62 ± 1.15	7.51 ± 1.32
計	7.08 ± 0.92	7.20 ± 0.15	7.31 ± 1.35
		全体	7.14 ± 1.04

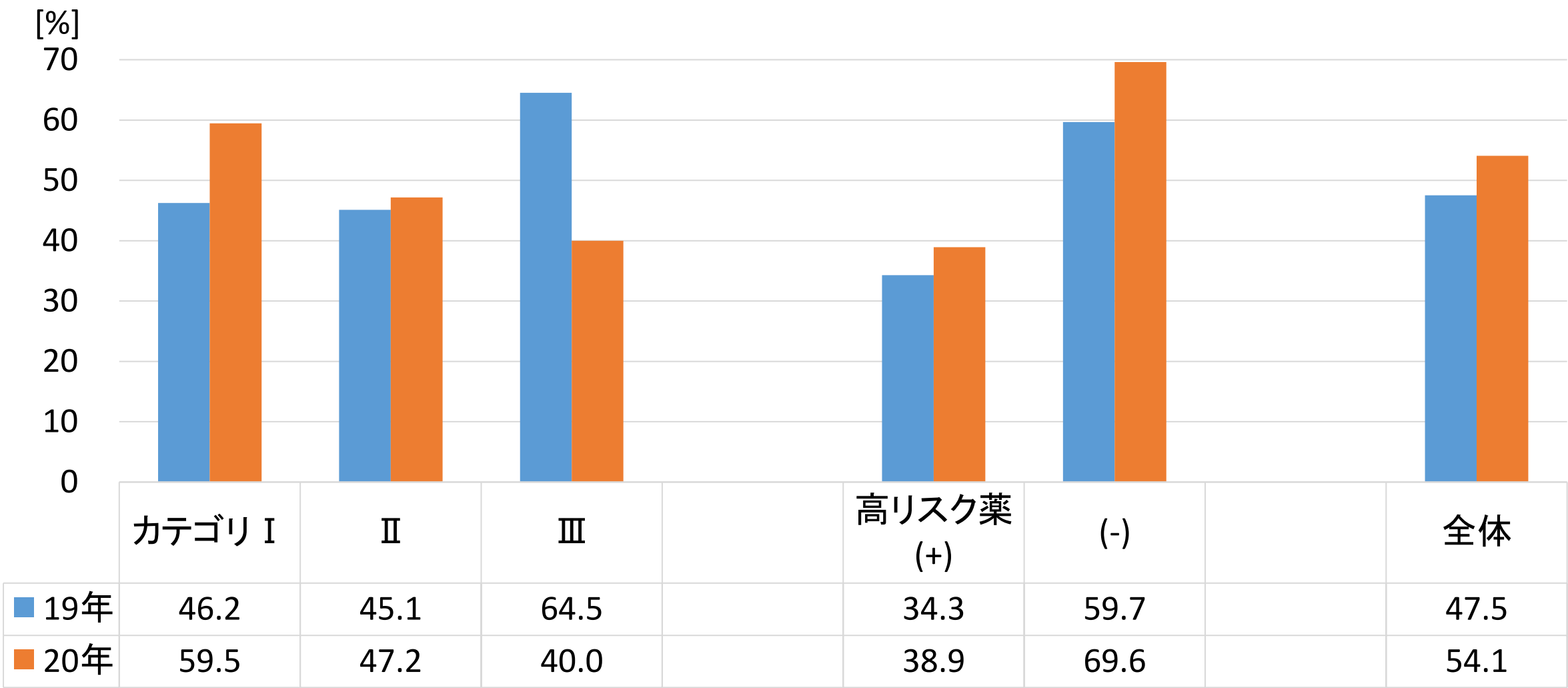
19年	カテゴリ I	II	III
高リスク薬(一)	6.83 ± 0.81	6.90 ± 0.82	6.51 ± 0.83
高リスク薬(+)	7.55 ± 1.07	7.57 ± 1.08	7.43 ± 1.17
計	7.11 ± 0.99	7.26 ± 1.02	7.10 ± 1.15
		全体	7.17 ± 0.99

目標達成者数[人(%)]

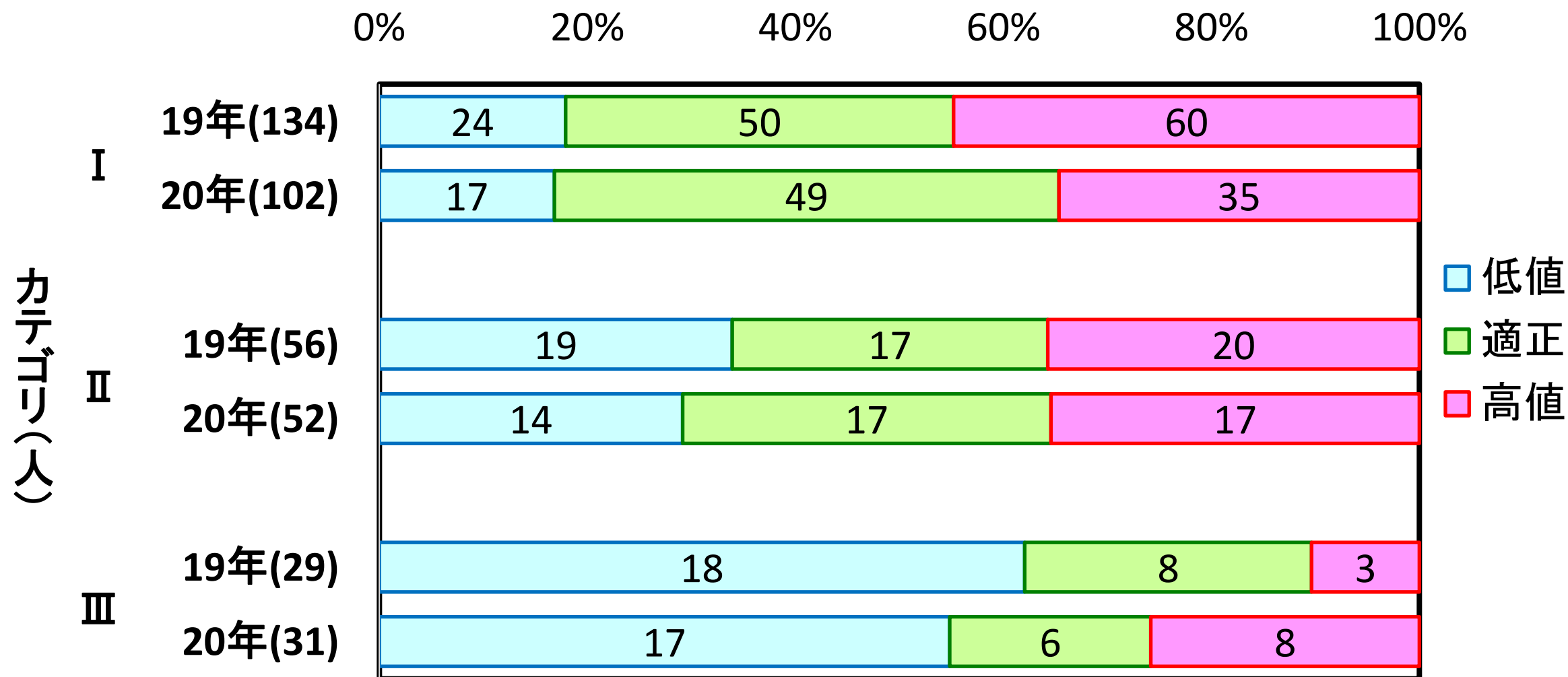
20年	カテゴリ I	II	III
高リスク薬(一)	89(68.5)	25(67.6)	12(85.7)
高リスク薬(+)	49(48.0)	17(32.6)	6(19.3)
計	138(59.5)	42(47.2)	18(12.3)
		全体	198(54.1)

19年	カテゴリ I	II	III
高リスク薬(一)	76(56.3)	25(58.1)	13(100)
高リスク薬(+)	41(34.7)	12(30.8)	7(38.9)
計	117(46.2)	37(45.1)	20(64.5)
		全体	174(47.5)

治療目標の達成率



高リスク薬(+)での血糖コントロール



考察

- 半数弱の患者で高リスク薬を使用しており、減薬困難であった。
- 高リスク薬の有無と関係なく、コントロール目標を達成できた患者は増加傾向であった。
- カテゴリⅢでは達成率が低下した。食事、運動、薬物療法が困難なことが基礎にある。また、高リスク薬群でHbA1c高値の比率が増加した。低血糖を厳に避けるためにHbA1c高値を許容したものと考ええる。